

学生へのメッセージ 「医の道」



No.19 令和4年5月30日(月) 2022-11号

発行責任者: 松江総合医療専門学校理事長 澤田勝寛

isonare@ka2.so-net.ne.jp 隔週月曜発行 令和3年(2021年)9月13日創刊

◆コロナ関係

マスク着用義務が緩和されていますが、新聞やテレビの報道によると、マスクを外すのに抵抗がある人が結構いるようです。すでにマスクは下着感覚になっており、恥ずかさを感じるのが理由です。

マスクをかけていると、小顔に見える、化粧不要、髭剃り不要、ほうれい線が見えないといった利点があり、マスクを外した素顔をみられ、こんな顔だったんだと思われるのに抵抗があるようです。

	マスクを外しても良い例
屋外	<ul style="list-style-type: none">周囲と2m以上の距離がある距離は不十分だが、会話がほとんどない <p>例 ランニングや鬼ごっこなどの外遊び、徒歩での通勤</p>
屋内	<ul style="list-style-type: none">2m以上の距離があり、会話がほとんどない <p>例 人が少ない図書館や美術館</p>
未就学児	着用を一律には求めない

◆学生の皆さんへ

新学期が始まり2か月が経ちました。医療を学ぶだけでも大変なのに、コロナで一層色々不便を感じていることでしょう。コロナはいくぶん収束傾向で、色々な規制も解除されてきています。もうしばらく我慢しましょう。

1年生は解剖生理に苦戦し、2年生は座学から実学へ移ることで不安をいだき、3年生は本格的な実習で緊張感が高まっていると思います。

でもそれは誰もが通る道で、皆さんの何十万という先輩たちがたどってきた道です。皆さんにできない訳がありません。めげない、逃げない、くじけないを唱えながら乗り切っていきましょう。

下記のサラリーマン川柳はなかなか、的を射た内容で面白いですよ。

◆第35回第一生命サラリーマン川柳

- 第1位 8時だよ!! 昔は集合 今閉店
- 第2位 ウィスルも 上司の指示も 変異する
- 第3位 にこやかに マスクの下で うっせいわ!
- 第4位 巣ごもりで MからLに 服反応
- 第5位 マスク顔 確信持てず 見つめあう

◆医療とは

澤田勝寛

私が医療に対して日ごろ思っていることをことばにしたもので、全部で7章あります。順次ご紹介していきます。

その一 目的

病院は病人を治療するところである

病人とは、体を病み心を病んでいる人である

その治療には最善をつかさねなければならない

痛がっている人の痛みは除かなければならない

苦しんでいる人の苦しみは癒さねばならない

弱っている人を救わねばならない

困っている人には

救いの手を差し伸べねばならない

その二 治療とは

病は待ってくれない

迅速な対応が必要である

病は手練である

巧みな治療が必要である

ミスは死に直結する

安全最優先が大原則である

医療は合同作品である

二十七種に及ぶ医療従事者の

共同作業である

ひとつの歯車がかけても動かない

ひとつの部品がかけても完成しない

円滑な協力が不可欠である

